

<株式会社エフエム東京 第352回放送番組審議会>

1. 開催年月日：平成20年10月7日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 本社10階大会議室
3. 委員の出席：委員総数8名
◇出席委員（5名） ※確認中
青池 慎一 副委員長 内木 文英 委員
香山 リカ 委員 横森 美奈子 委員
渡辺 貞夫 委員
◇欠席委員（2名）
子安 美知子 委員長 内館 牧子 委員

4. 議題

- (1) 最近の活動について
- (2) 番組試聴：オークネット presents 「週末ランニング部」ダイジェスト版
2008年9月26日（金）17:00～17:25放送分

<試聴時間：約20分>

≪議事内容≫

議題1：最近の活動について

◎新コミュニケーション・ロゴマーク、キャッチフレーズについて

ステーションイメージ明確化を目的として、10月1日より、新しいコミュニケーションキャッチフレーズ及びロゴマークへの切り替えを実施いたしました。



新しいコミュニケーション・キャッチフレーズは、「80. Love」（エイティ ポイント ラブ）。TOKYO FMが掲げる2つのステーションキャンペーンテーマ、「アースコンシャス～地球を愛し、感じるころころ～」「ヒューマンコンシャス～生命を愛し、つながる心～」を象徴するキーワード「ラブ」を、TOKYO FMの周波数

「80.0MHz」の小数点以下の部分を「ポイント ラブ」と読み替えることによって表現しました。「ポイント」は視点の意味を持ちます。「80.Love」はTOKYO FMが独自の視点（ポイント）と愛情、思いやり（ラブ）を持って、リスナーの琴線に触れるコンテンツを創り、発信し続けていくメディアでありたい、という意志の表明でもあります。

新しいロゴマークのデザインは数多くの広告物を手がける人気クリエイター 箭内道彦氏によるものです。また、サウンドデザインは、欧米においても斬新なサウンド創りが高い評価を得ている音楽ユニット「コーネリアス」の小山田圭吾氏が担当。ステーションジングル音をはじめ、ニュースや交通情報等のBGMを一新します。「ポイント ラブ」を強調した音作りで、新しいキャッチフレーズの浸透をはかります。

議題 2：番組試聴

【番組名】オークネット presents 「週末ランニング部」

【放送日時】2008年9月26日（金）17:00～17:25放送分

【番組概要】

昨今のランニングブームに代表されるように、若い世代のスポーツとの関わり方には、プロの競技を観戦するだけでなく、実際に自分たちでも体験してみるという風潮が見受けられます。

そんな時代背景を受け、今年4月にスタートしたのが、「週末ランニング部」です。この番組は、“部活動”をコンセプトに、陸上400mハードル日本代表として北京五輪にも出場した為末大選手が“部長”として、毎回様々な競技のトップアスリートをゲストに迎え、“部員”（リスナー/ウィークエンドランナー）へのアドバイスや励ましになるような話を伺います（※為末選手の大会準備期間中などには、“副部長”としてマラソンの徳本一善選手や、“監督”として元サッカー日本代表の前園真聖さんが代役を務めます）。

現役選手が初のラジオパーソナリティを務める番組としても注目であることはもとより、他ではあまり聞くことのできない、競技の枠を超えた“アスリート同士の対話”だからこそ垣間見える、選手のリラックスした素顔、競技に対する真摯な想いや試合中の思考、試合だけではわからないスポーツ選手の日常

や普段の努力などが、この番組ならではの魅力として、リスナーに励みや共感を呼び起こしています。

今回は、北京五輪100m、400mリレー日本代表の朝原宣治さんとの、引退試合明け翌日に収録された対談を放送した、9月26日の放送回をダイジェスト版でお聴き頂きます。

<試聴時間：約20分>

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

- 番組最後に為末氏が「マニアックな話を聴けて楽しかった」と自分でも話していたが、その言葉が象徴していたように感じる。トーク内容が仲間同士の盛り上がりになってしまっていて、冒頭は面白くなかった。後半はいい話が出てきたが、たまたま聴いていたら、いい話が出てきたという感じがしたので、もう少し明確なテーマを設けて話ができたらよかったのではないかと思う。
- 100m走というのは特に単純で勝負がはっきりとでる競技。しかし、その中に生きる選手たちの人生は、競技ほど単純にはうまくいかないことがあり、こうしてラジオを通して、丁寧に聴けば聴くほど、考えさせられた。
- もう少し裏話的なことが聴けてもよかった。話に出てきた、オリンピックの試合の中継も見えていたが、その時以上の情報があまりなかった。マニアック寄りの内容ならば、それなりに、例えば「前の日に何を食べていたか」など、細かいことまで突っ込んだ内容でもよかったのではないか。スポーツ選手同士のリラックスした和みのトークなのか、徹底的なスポーツのマニアックトークなのか、もう少し方向性をはっきりさせるとよいと思った。
- アスリート同士だからこそ気を許して話せる雰囲気が、この番組ならではのあった。が、アスリート同士が故にあえて訊くまでもないと思われてしまったことや、すでに知っているからといって省略されてしまった部分もあったのではないか。リスナーにとってはむしろそうした部分が興味深かったりするものである。また、「部活動」をコンセプトとしているならば、もう少しリスナー参加型のところがあってもよい。それと、途中から聴いても誰が

ゲストなのかわかるように、番組途中にもゲストを説明するなどの、演出も必要ではないかと思う。

- 出演している2人は知っているけれど、リスナーにはわからない部分も多い。あまりに親交が深いだけに、「番組に迎えるには恥ずかしいゲスト」と紹介したり、「今度ゆっくり話しましょう」と語っていたが、これらの言葉は、聴いてくださっているリスナーに対して失礼にあたるので、タブーである。
- 番組コンセプトを「部活動」としているのに、普通の対談番組になってしまっているが？
- この回には盛り込まれませんでした。リスナーからの励ましのメッセージに応えたり、一般ランナーからの陸上に関する質問にアドバイスをしたりすることもあります。また、番組HPを部室形式にし、番組オリジナルの部員Tシャツを作成してリスナープレゼントするなど展開中。今後はランニングイベント等も視野に入れるなど、より意義のある番組にしていきたいと思っています。

5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送：番組「リサ・ステッグマイヤーのクロノス」
10月31日（金） 5：00～8：30放送
- ② 書面：TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット：TOKYO FMホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

7. その他

次回審議会は11月11日（火）に開催することを決めた。

以上